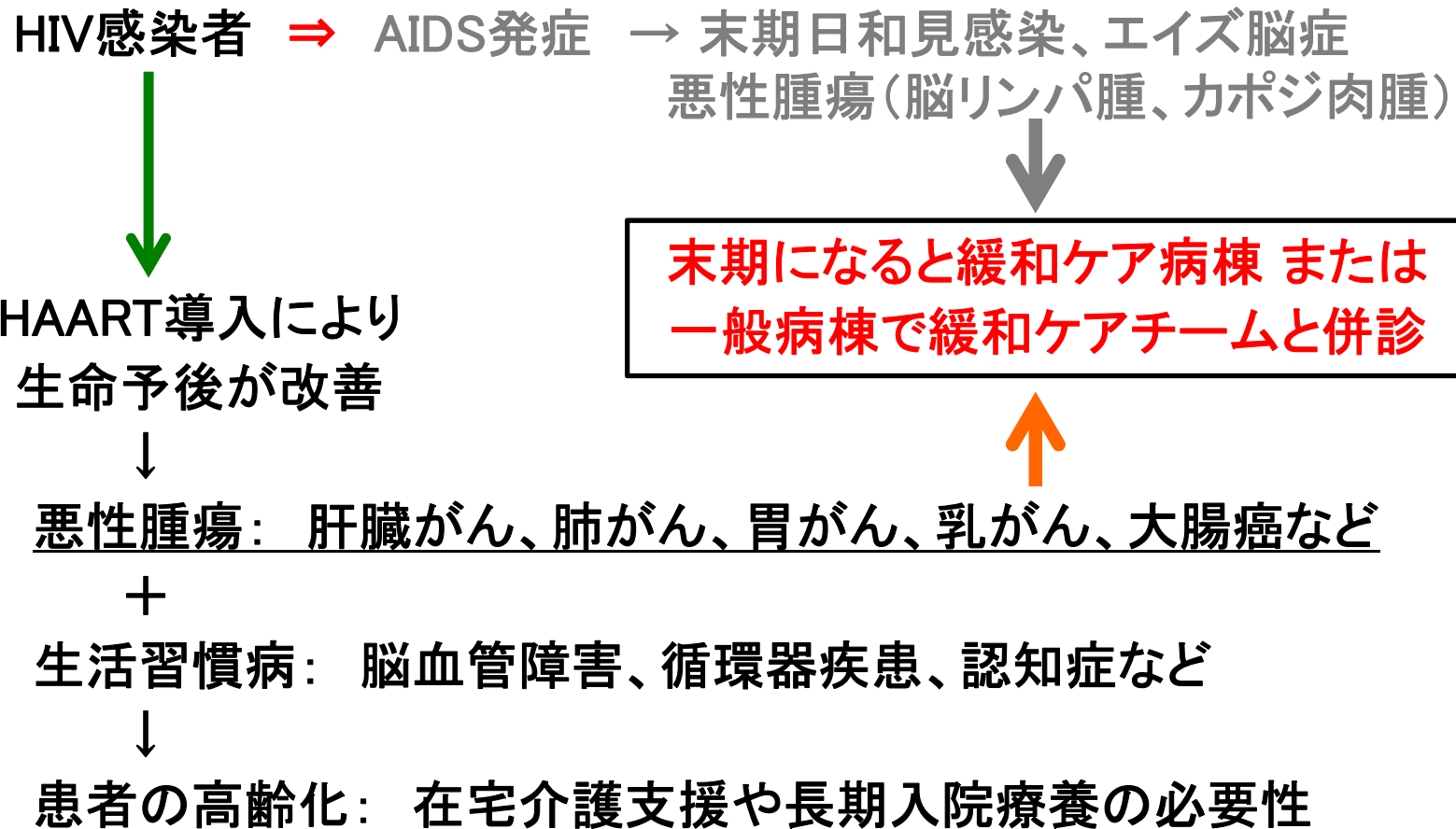


「エイズ患者の緩和ケア病棟への受け入れ を進めてきた経過報告」

県立広島病院 呼吸器内科・リウマチ科
土井正男

HAART導入による療養形態の変化と課題



緩和ケア病棟の施設基準と診療報酬の改訂

(2008年4月)

施設基準

主として苦痛の緩和を必要とする悪性腫瘍の患者及び後天性免疫不全症候群の患者を入院させ、緩和ケアを行うとともに、外来や在宅への円滑な移行も支援する病棟であること。

診療報酬の改訂

抗HIV薬及び血友病の治療薬が、緩和ケア病棟入院料の包括除外薬剤とされた。

●エイズ治療拠点病院/●受療協力医療機関 と●緩和ケア病棟の広島県内分布図

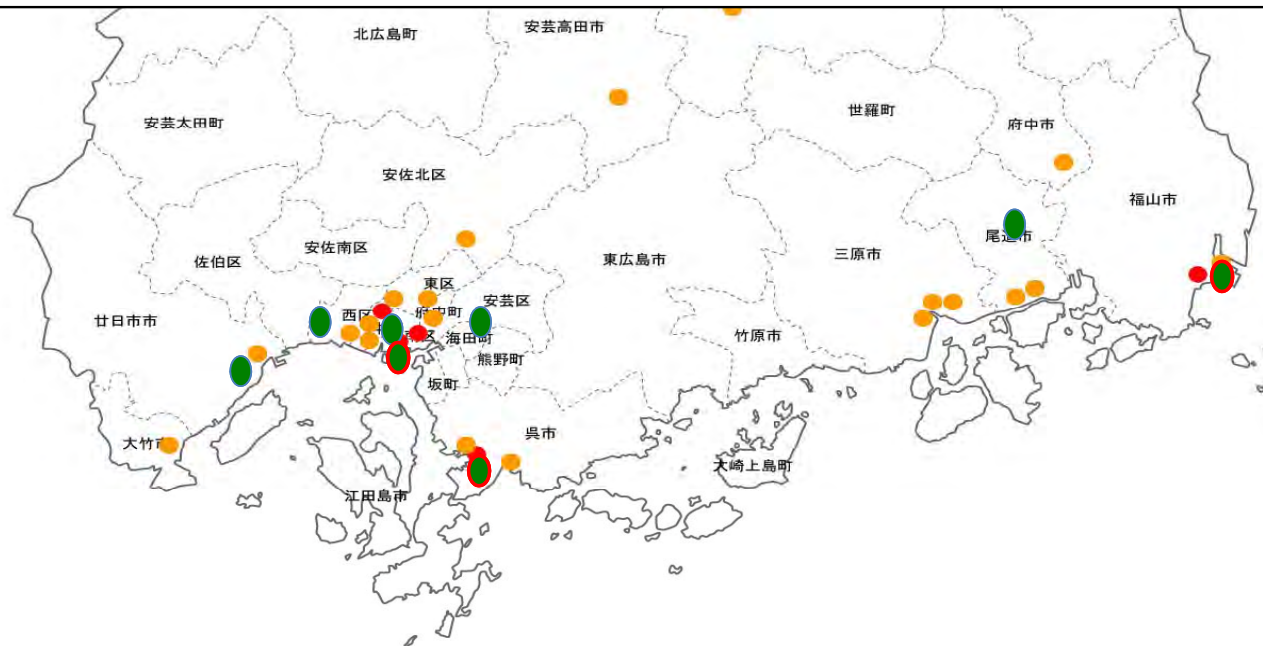
緩和ケア病棟をもつ

エイズ治療拠点病院/受療協力医療機関 $2 + 1 = 3$ 施設

緩和ケア病棟をもたない

エイズ治療拠点病院/受療協力医療機関 $3 + 21 = 25$ 施設

エイズ治療拠点病院/受療協力医療機関ではない緩和ケア病棟 5 病棟



HIV陽性者に対する緩和ケア医療に関するアンケート調査

1 目的

HIV陽性者の緩和ケア医療に関する対応状況を確認するとともに、現状の問題点とその解決方法について検討する。また、平成20年度から診療報酬の改定により、抗HIV薬及び血友病の治療薬が緩和ケア病棟入院料の包括除外薬剤とされたことによる状況の変化も併せて確認する。

2 調査期間 平成21年10月5日～平成21年10月30日

3 調査対象と内容

- ①全国の緩和ケア病棟を有する203の病院に対し、HIV陽性者に対する緩和ケアの受入れ状況について、アンケート調査を実施。(以下「アンケート調査①」)
- ②中四国ブロックの56のエイズ治療拠点病院に対し、緩和ケアを必要とするHIV陽性者への対応状況について、アンケート調査を実施。(以下「アンケート調査②」)

4 アンケート方法

匿名(施設名を記名しない)により実施。

5 回収率

アンケート調査①:115/203 (56.6%)、アンケート調査②: 29/56 (51.8%)

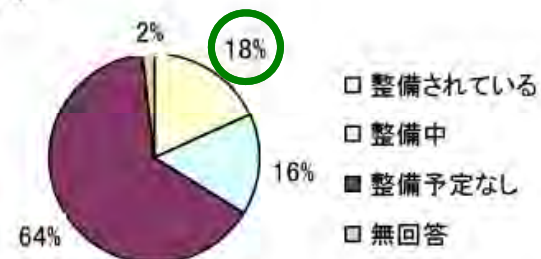
県立広島病院エイズ支援室、緩和ケア科

緩和ケア病棟を有する病院に対するアンケート①調査結果（1）

【共通質問 I】 HIV/エイズの診療体制について

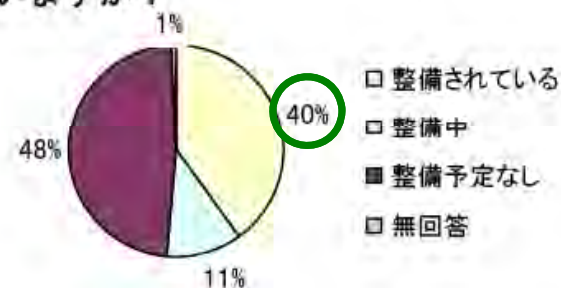
1 HIV/AIDS 診療に関するマニュアルは整備されていますか？

- | | |
|------------|-------|
| 1) 整備されている | 21 施設 |
| 2) 整備中 | 18 施設 |
| 3) 整備予定なし | 74 施設 |
| 4) 無回答 | 2 施設 |



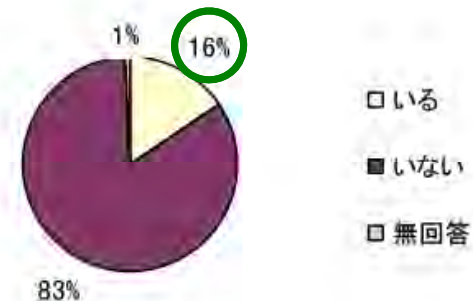
2 HIV 陽性者の体液曝露後の対応マニュアルは整備されていますか？

- | | |
|------------|-------|
| 1) 整備されている | 46 施設 |
| 2) 整備中 | 13 施設 |
| 3) 整備予定なし | 55 施設 |
| 4) 無回答 | 1 施設 |



3 貴院内に HIV/AIDS 診療の担当医はおられますか？

- | | |
|--------|-------|
| 1) いる | 18 施設 |
| 2) いない | 96 施設 |
| 3) 無回答 | 1 施設 |

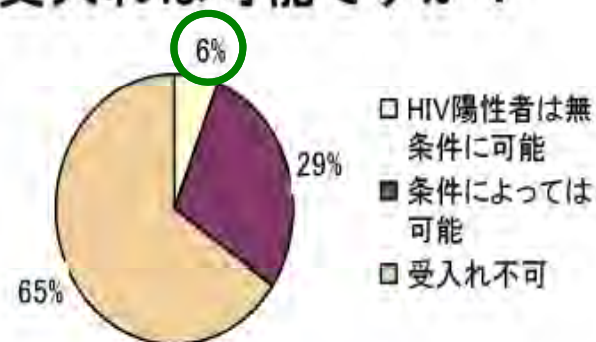


緩和ケア病棟を有する病院に対するアンケート①調査結果（2）

【共通質問Ⅱ】HIV 陽性者の受入れ可否について

貴院の緩和ケア病棟への HIV 陽性者の受入れは可能ですか？

- | | |
|-------------------|-------|
| 1) HIV 陽性者は無条件に可能 | 7 施設 |
| 2) 条件によっては可能 | 33 施設 |
| 3) 受入れ不可 | 75 施設 |



※その他の質問は、共通質問Ⅱの選択により、アンケート内容を変えているため、それぞれに分けて、次頁から結果を記載しています。

緩和ケア病棟を有する病院に対するアンケート①調査結果 (3)

【個別質問Ⅰ】 共通質問Ⅱで「無条件に可能」を選択した施設への質問

1 HIV 陽性者の受入れはいつ頃からされていますか？

1) 平成 10 年度以前	2 施設
2) 平成 10 年度から平成 19 年度	6 施設
3) 平成 20 年度以降	0 施設

2 これまでに受入れた症例数は何例ですか？

(平成 19 年度以前と平成 20 年度以降とに分けて回答)

	0 人	1 人	2 人	3 人以上
平成 19 年度以前	5 施設	1 施設	0 施設	1 施設
平成 20 年度以降	6 施設	1 施設	0 施設	0 施設

緩和ケア病棟を有する病院に対するアンケート①調査結果（4）

【個別質問Ⅱ】共通質問Ⅱで「条件によっては可能」を選択した施設への質問

6 HIV 陽性者の緩和ケア病棟への受入れは、どうすれば促進されると思いますか？

1) 緩和ケア病棟スタッフに対する HIV 陽性者対応研修の促進	14 施設
2) 緩和ケア病棟での HIV 陽性者の体液曝露後対策の徹底	13 施設
3) エイズ治療拠点病院との連携強化	15 施設
4) 国等による体制整備・運営費等の補助	14 施設
5) その他	6 施設
6) 無回答	8 施設

（その他の回答）

- ・利用者への働きかけ
- ・予後、合併症の治療の必要性の評価
- ・HIV が治療により長期予後が期待される現状では、緩和ケアではなく、積極的治療の対象とすべき
- ・そもそも需要がないのではないか。当院で希望があった事例がない
- ・癌患者と AIDS 患者とでは緩和ケア治療内容のニーズも異なるため、同一施設内で両方行うのは困難
- ・現在の診療報酬制度においては病院経営的に困難である
- ・HIV が治療により長期予後が期待される現状では、緩和ケアではなく、積極的治療の対象とすべき

緩和ケア病棟を有する病院に対するアンケート①調査結果 (5)

【個別質問Ⅲ】共通質問Ⅱで「受け入れ不可」を選択した施設への質問

1 現在、受入れ不可としている理由は何ですか？(複数回答可)

1) HIV/エイズに関する専門的知識の不足しているため	61 施設
2) エイズ拠点病院等ではないため相談できるスタッフがいないため	57 施設
3) HIV 陽性者に対する院内感染防止/曝露後対策マニュアルが整備されていないため	36 施設
4) 入院が長期化する傾向がある	6 施設
5) 診療報酬上 AIDS 治療薬及び血友病の治療薬が認められなかった	10 施設
6) HIV 陽性者はエイズ拠点病院で受入れるべき	31 施設
7) その他	11 施設

(その他の回答)

- ・エイズ治療拠点病院が対応すれば事足りていると思われる
- ・県内に緩和ケア病棟を持つエイズ治療拠点病院がある
- ・当院では癌(悪性腫瘍)の患者を対象としている(又は手一杯である)ため
- ・当院は独立型ホスピスであり、エイズ治療は行うことができない
- ・HIV の治療が進歩している現状で、エイズの緩和ケアのイメージが沸かない
- ・開設したばかりでまだ方針が定まっていない

緩和ケア病棟を有する病院に対するアンケート①調査結果（6）

【個別質問Ⅲ】共通質問Ⅱで「受け入れ不可」を選択した施設への質問

4 HIV陽性者の緩和ケア病棟への受入れは、どうすれば促進されると思いますか？

1) 緩和ケア病棟スタッフに対するHIV陽性者対応研修の促進	49施設
2) 緩和ケア病棟でのHIV陽性者の体液曝露後対策の徹底	40施設
3) エイズ治療拠点病院との連携強化	53施設
4) 国等による体制整備・運営費等の補助	49施設
5) その他	13施設
6) 無回答	5施設

（その他の回答）

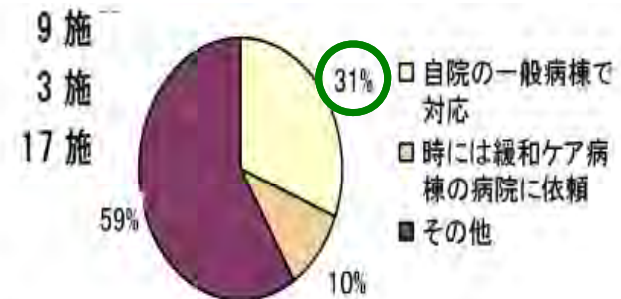
- ・ HIV/エイズ専門医が一人でもいること
- ・ 教育・研修などを系統的に進める必要がある
- ・ 国等からの資金的援助、診療報酬の改定等
- ・ 将来的に患者数が増加することがあれば検討する必要があると考える
- ・ まだまだがん患者の需要が大きく、対応は困難

中四国ブロックの56のエイズ治療拠点病院に対し、
緩和ケアを必要とするHIV陽性者への
対応状況についてアンケート結果

エイズ治療拠点病院に対するアンケート②調査結果（1）

1 貴院の HIV 陽性者で、緩和ケアを必要とする患者がおられた場合は
どのように対応されていますか？

- 1) 自院の一般病棟で対応している
- 2) ときには緩和ケア病棟を有する病院に依頼している
- 3) その他（事例がない）



2 貴院の一般病棟での対応において、何か問題がありますか？

1) 特に問題はない	5 施設
2) 緩和ケアの経験が少なく診療に戸惑うことが多い	3 施設
3) 緩和ケアの専門医が不在である	1 施設
4) 入院が長期化する	8 施設
5) 事例がなく不明	16 施設

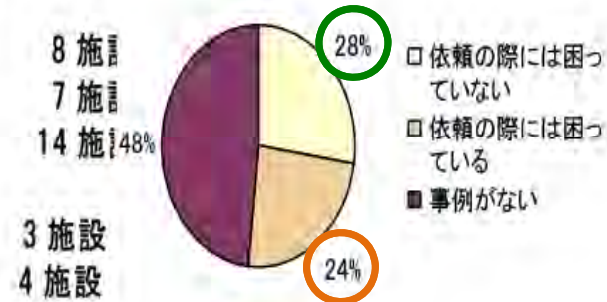
エイズ治療拠点病院に対するアンケート②調査結果 (2)

3 緩和ケア病棟を有する病院への依頼は困っていますか？

- 1) 依頼の際には困っていない
- 2) 依頼の際には困っている
- 3) 事例がない

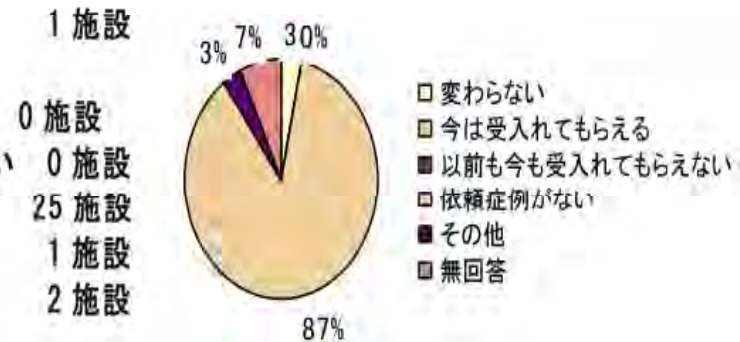
(「困っている」と回答した施設について、その理由は？)

- ・ 近隣に緩和ケア病棟がない
- ・ HIV 陽性者を受け入れてもらえない



4 平成 20 年度の診療報酬改定により、抗 HIV 薬及び血友病の治療薬が緩和ケア病棟入院料の包括除外薬剤になりましたが、それ以前と比較して、緩和ケア病棟を有する病院の受け入れ状況に変化はありましたか？

- 1) 以前も今も変わらず受け入れてもらっている
- 2) 以前は受け入れてもらえないことが多かったが、今は受け入れてもらえる
- 3) 以前も今も変わらず受け入れてもらえないことが多い
- 4) 依頼症例がない
- 5) その他 (当院に緩和ケア病棟がある)
- 6) 無回答

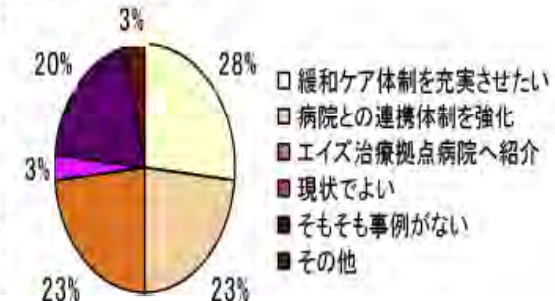


エイズ治療拠点病院に対するアンケート②調査結果 (3)

5 貴院の HIV 陽性者の緩和ケアについて、今後どのようにしていきたいですか？

- 1) 自院の緩和ケア診療体制を充実させていきたい
- 2) 地域の緩和ケア病棟を有する病院との連携体制を強化していきたい
- 3) 緩和ケア病棟を有するエイズ治療拠点病院へ紹介したい
- 4) 現状でよい
- 5) そもそも事例がない
- 6) その他

8 施設
7 施設
7 施設
1 施設
6 施設
1 施設



6 HIV 陽性者の緩和ケアはどうすれば体制が強化されると思いますか？

1) 緩和ケア病棟を有する病院でのエイズ研修の促進	12 施設
2) 緩和ケア病棟を有する拠点病院の体制を強化する	13 施設
3) 拠点病院での緩和ケアチームを充実させる	9 施設
4) その他	7 施設
5) 無回答	2 施設

(その他の回答)

- ・そもそも事例がない
- ・緩和ケアが必要な患者に対するマニュアルがない

HIV陽性者の緩和ケア医療体制と整備案

緩和ケア病棟をもつ

エイズ治療拠点病院/受療協力医療機関 2+1=3 施設

- 緩和ケア病棟スタッフへのHIV診療・看護の研修
HIV診療チームの緩和ケア病棟への協力と支援

緩和ケア病棟をもたない

エイズ治療拠点病院/受療協力医療機関 3+21=25 施設

- HIV診療チームの緩和ケアチームへの協力と支援
緩和ケアチームスタッフへのHIV診療・看護の研修

エイズ治療拠点病院/受療協力医療機関でない

緩和ケア病棟 5 病棟

- 緩和ケア病棟スタッフへのHIV診療・看護の研修
HIV診療連携体制の整備と構築

「緩和ケア病棟へのエイズ受け入れ」に関する研修会開催

緩和ケア病棟をもつエイズ治療拠点病院/受療協力医療機関

日時：平成22年12月2日（木）17時30分～19時

場所： 某病院 中央棟講堂

講義1

「HIV/AIDS看護について ～緩和ケアスタッフに必要な基礎知識～」

広島大学病院 エイズ医療対策室

エイズ予防財団リサーチレジデント看護師 鍵浦文子

”緩和ケア病棟へのエイズ患者受け入れ”に関する研修会と会議

1. 主催

広島県エイズ治療中核拠点病院、広島県。

2. 目的

”緩和ケア病棟のエイズ患者受け入れ”に関する現状把握およびエイズの基礎知識、エイズ医療の現状、最近の動向等の情報共有。

3. 目標

末期のエイズ患者および末期癌をもつHIV感染者の緩和ケア病棟への円滑な受け入れ体制の構築。

4. 対象

広島県内の緩和ケア病棟の医師およびその他の職員（看護師、SWなど）

5. 開催場所

平成23年3月3日（木）18時30分～20時、某病院 新東棟2階研修室

”緩和ケア病棟へのエイズ患者受け入れ”に関する研修会と会議

日時：平成23年3月3日(木)18時30分～20時、場所： 某病院 新東棟2階研修室

研修会・講義1 (18:30～19:10)

「緩和ケアスタッフのためのHIV感染症基礎知識」

講師：広島文化学園大学看護学部 教授 高田 昇

研修会・講義2 (19:10～19:30)

「HIV感染患者の病棟診療の注意点」

講師：県立広島病院 看護専門員 濱田 恵子

「緩和ケア病棟のエイズ受け入れ」に関する会議 (19:30～20:00)

助言者：広島文化学園大学看護学部 教授 高田 昇

県立広島病院 看護専門員 濱田 恵子

県立広島大学保健福祉学部人間福祉学科 准教授 大下 由美

参加していただいた7施設の緩和ケア病棟職員に意見をもとに、緩和ケア施設へ講師を派遣する出張研修会開催の希望を調査。

”緩和ケア病棟へのエイズ患者受け入れ”に関する出張研修会

研修会名：AIDS研修会

主催：某病院 院内感染対策研修会として

研修対象：緩和ケア病棟スタッフと病院職員希望者

日時：平成23年5月24日(火)18時30分～20時

場所：某病院 大会議室

参加人数：57名

講演1 (18:30～19:30)

「HIV感染症の概要」

広島大学病院 輸血部・エイズ医療対策室 藤井輝久

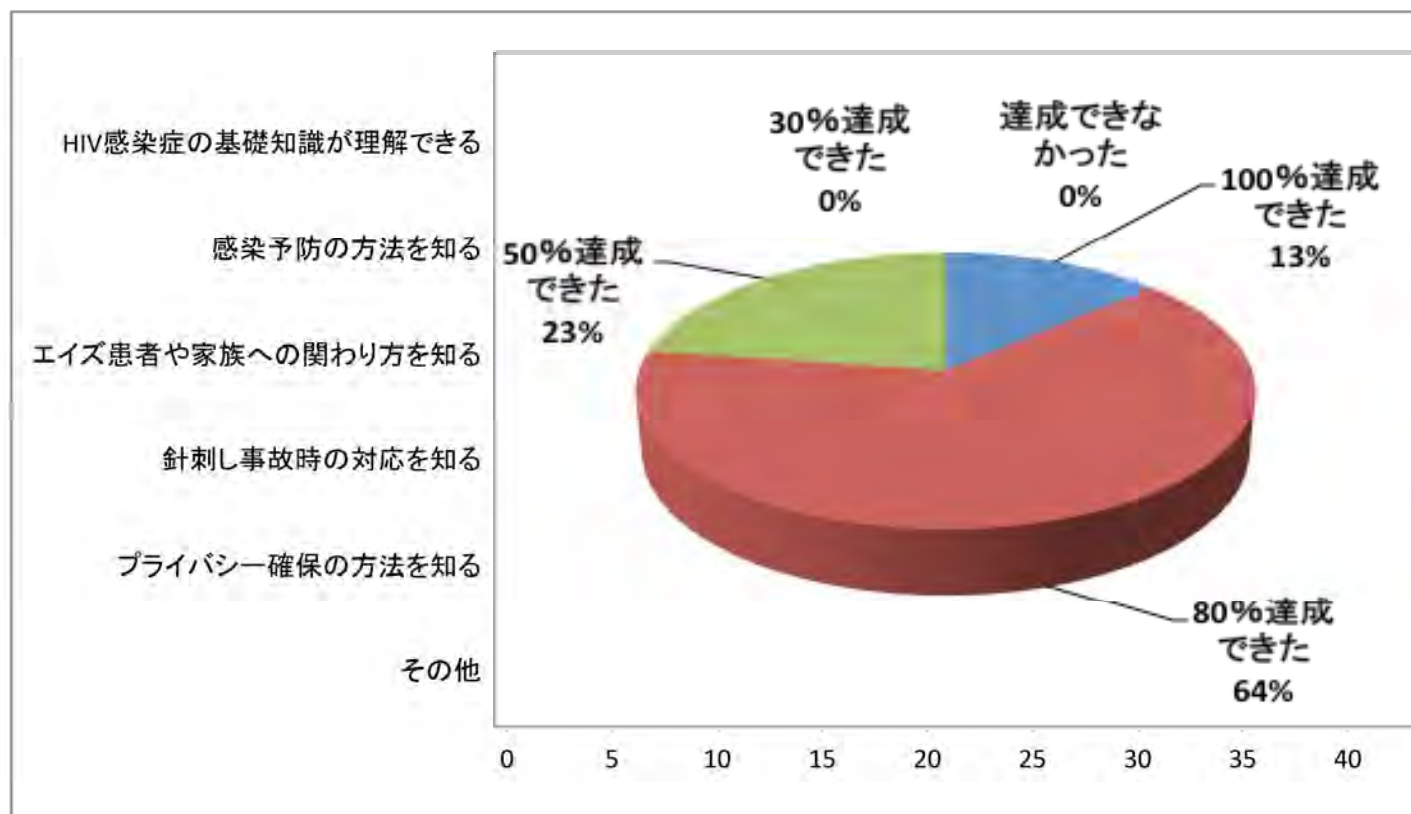
講演2 (19:30～20:00)

「HIV／AIDS患者への看護」

広島大学病院 看護部 大塚和歌子

“AIDS研修会”への参加者に対するアンケート結果

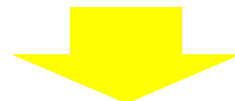
今回の研修は、どのような内容が知りたくて受講されましたか？



研修出席者数57人、アンケート回収枚数53枚(回収率92.9%)

”緩和ケア病棟へのエイズ患者受け入れ”に関する出張研修会

2011年12月に広島県内の緩和ケア施設へ出張研修会希望に関するアンケートを送付した結果、8施設中4施設から研修会開催を要望した。



エイズ治療拠点病院/受療協力医療機関
ではない緩和ケア施設



研修会開催を要望した4施設において、
広島県と広島県エイズ治療中核拠点病院が主催する研修会
を2012年9月～2012年2月までに開催予定である。

まとめ

1. 平成21～22年度、エイズ患者の緩和ケア病棟への受け入れ現状の把握と問題点抽出をアンケートにより実施。
2. 平成23年度、広島県内の緩和ケア施設職員に対するエイズ情報の提供と同時に、受け入れに関する問題点抽出目的の会議を開催。
3. 平成24年度、広島県エイズ治療中核拠点病院が主催するエイズ研修会を要望する緩和ケア施設において実施中。

今後は、実際の受け入れ事例に関する情報をエイズ診療施設と緩和ケア施設が共有し検証していく。